

こじょうライブラリー

第 93 号
2018. 10. 1
名古屋市高年大学
鯉城学園図書室報

読書の秋(本の見方)

今年の夏は非常に暑い夏でした。熊谷市では41.1℃、名古屋でも40.1℃を記録しました。猛暑日続きの夏も過ぎ、朝夕は過ごしやすくなり、秋の気配が感じられます。読書の秋、食欲の秋、行楽の秋、芸術の秋などがありますが、皆さんはどの秋でしょうか。

読書の秋は、どうして読書の秋というのでしょうか。中国の韓愈の漢詩に「燈火稍く親しむ可く」という詩があり、「秋はすこしやすく、夜は明かりを灯して読書をするのによい季節だ」ということのようです。秋は、暑くもなく寒くもなくとてもすこしやすい季節で、読書にもスポーツにも適した季節なのでしょうか。10月27日から11月9日までは読書週間として、図書館などでは、読書に親しんでいただくためのイベントが企画されるようです。

本には、単行本、文庫本、新書、大型本があります。また、本屋さんでは、小説、コミック、ビジネス書、旅行・観光書、スポーツ、料理本などのコーナーがあります。このように本は、内容や大きさなどにより、表紙のデザインや紙の種類も様々です。これは、作家だけでなく出版社の本作りへ拘りでもあります。

電子書籍にはない“紙”的味わいがあります。本の表紙や背(せ)、カバー(ジャケット)にも、読者の目に留まるような工夫をしています。また、カバーについている帯(帯紙)にも、デザインだけでなく、読みたくなるような推薦者の言葉が添えられたりしています。

単行本には、表表紙と裏表紙に「見返し」といって“遊び紙”が付けられています。見返しの次に「扉」があり、ここに本の題名や作家の名前が書かれています。本の内容に合わせて、紙の色や紙の質まで拘って作られています。この扉の紙と見返しの紙の色や質を目で見て、手で触って紙の感触を味わってください。かつての本には、挿絵があるものがあり、本を見る楽しみがあったのですが、最近の本にはほとんど見られなくなり、一抹の寂しさを感じています。

皆さんも、本を手に取り“紙の本”的味わいや手触りを感じて読書を楽しんでください。

(図書室より)

※ 本や図書館にまつわる投稿を700字程度でお待ちしております。

詳しくは、事務室の図書室担当までお問い合わせください。

※ よく読まれている本 ・おらおらでひとりいぐも…若竹千佐子 ・琥珀の夢…伊集院静 ・大家さんと僕…矢部太郎 ・ウズタマ…額賀澪 ・屍人荘の殺人…今村昌弘 ・傘寿まり子…おざわゆき ・万引き家族…是枝裕和 ・祝葬…久坂部羊 ・百貨の魔法…村山早紀 ・羊と鋼の森…宮下奈都 ・青くて痛くて脆い…住野よる ・ご用命とあらばゆりかごからお墓まで万両百貨店外商部奇譚…真梨幸子 ・未来…湊かなえ ・10年後の仕事図鑑…落合陽一/堀江貴文 ・そのバケツで水がくめない…飛鳥井千砂 ・光点…山岡ミヤ ・爽年…石田衣良 ・碧と花電車の街…麻宮ゆり子 ・この世の春…宮部みゆき ・キッチンコロシアム…田中経一 ・おちやめに100歳！寂聴さん…瀬尾まなほ ・千の扉…島崎友香 ・温故知新の家族学…大和田道雄 ・ののはな通信…三浦しをん ・酒が仇と思えども…中島要

※ 7月～9月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	242	129
2年	305	249
OB	724	924
合計	1,271人	1,302冊

新刊図書（7月～9月）

著者名	著書名	出版社名
見城 徹	読書という荒野	幻冬舎
三島 由紀夫	告白 - 三島由紀夫未公開インタビュー	講談社
唯川 恵	バッグをザックに持ち替えて	光文社
柚木 麻子	デートクレンジング	祥伝社
古内 一絵	キネマトグラフィカ	東京創元社
島本 理生	ファーストラブ	文芸春秋
高橋 弘希	送り火	文芸春秋
本城 雅人	傍流の記者	新潮社
上田 早夕里	破滅の王	双葉社
羽田 圭介	5時過ぎのランチ	実行之日本社
菅田 哲也	あの夏、二人のルカ	KADOKAWA
上田 秀人	本懐	光文社
畠中 恵	むすびつき	新潮社
谷畑 美帆	骨と墓の考古学 大都市江戸の生活と病	角川書店
瀬尾まいこ	そして、バトンは渡された	文芸春秋

城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書（7月～9月）

著者名	著書名	出版社名
すみれ	かみさまは小学生	サンマーク出版
是枝 裕和	万引き家族	宝島社
三浦 しをん	ののはな通信	KADOKAWA
柳 美里	飼う人	文芸春秋
飛鳥井 千砂	そのバケツでは水がくめない	祥伝社
桜井 なおみ	あの人のがんになったら	中央公論新社
吉森 大祐	幕末ダウンタウン	講談社
竹村 道夫 ほか	窃盗症 クレプトマニア その理解と支援	中央法規出版
加藤 登紀子	運命の歌のジグソーパズル	朝日新聞出版
輪渡 鳩介	物の怪斬り 溝猫長屋祠の怪	講談社
河合 敦	幕末、明治偉人たちの定年後	飛鳥新社
森沢 明夫	きらきら眼鏡	双葉社
吉沢 久子	100歳の100の知恵	中央公論新社
篠田 節子	鏡の背面	集英社
寺地 はるな	大人はなかないと思っていた	集英社
河治 和歌	がいなもん 松浦武四郎一代	小学館
土橋 章宏	スマイリング！	中央公論新社
畠山 重篤	人の心に木を植える	講談社
堂場 瞬一	砂の家	KADOKAWA
おざわ ゆき	傘寿まり子4・5・6・7	KCデラックス
池井戸 潤	下町ロケット ゴースト	小学館
小野寺 史宜	ひと	祥伝社
朝吹 真理子	TIMLEES	新潮社
窪 美澄	じっと手を見る	幻冬舎
松尾 スズキ	もう『はい』としか言えない	文芸春秋
葉室 麟	蝶のゆくえ	集英社
凶犬の眼	柚月 裕子	角川書店
井戸田 齋	魚はすごい	小学館